

農業従事者数について

- 平成 27 年センサスと令和 2 年センサスの比較 -

農業従事者については、平成 27 年から令和 2 年の 5 年間で 46 万人減少。

主な要因は、基幹的農業従事者の高齢化に伴うリタイヤ等によるもの（平成 27 年の 65 歳以上層（114 万人）と令和 2 年の 70 歳以上層（70 万人）を単純に比較すると 44 万人の減少）。

常雇いについても、主に、雇用する経営体の高齢化に伴う減少等によるもの。

	①平成 27 年	②令和 2 年	②－①
農業従事者	197.7 万人 (推計) (31.2 万人)	152.0 万人 (22.7 万人)	－45.7 万人 (－8.5 万人)
うち基幹的農業従事者	175.7 万人 (17.4 万人)	136.3 万人 (14.7 万人)	－39.4 万人 (－2.7 万人)
うち常雇い	22.0 万人 (推計) (13.8 万人)	15.7 万人 (8.0 万人)	－6.3 万人 (－5.8 万人)

() 内は 49 歳以下の数

注：1) 基幹的農業従事者：15 歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

常雇い：あらかじめ、年間 7 ヶ月以上の契約で主に農業経営のために雇った人

：2) H27 センサスでは常雇いの年齢別データを調査していないため、H27 の 49 歳以下の常雇いの数は[常雇い全体の数×国勢調査で産業分類が農業の者の 49 歳以下の比率]により推計

：3) 49 歳以下の農業従事者数について、平成 25 年以降、センサスの数値をベースに、機械的な方法（(i)前年の 49 歳以下の農業従事者の数から、(ii)当年に 50 歳になる者の数を差し引いた後、(iii)当年の 49 歳以下の新規就農者の数を加える（農業に従事しなくなった者の数は考慮していない））により計算した数値を公表

(H27 センサス以降、H28：31.8 万人、H29：32.6 万人、H30：33.4 万人、H31：33.9 万人)